

令和4年度 原子力防災訓練の結果について

原子力発電所事故に対する実効性ある多重防護体制の構築を目指し、原子力災害を想定した防災訓練を実施したところ、その結果は以下のとおりでした。

今後、訓練の振り返り等により体制や手順などを検証し、以降実施する訓練や研修に反映していきます。

なお、本訓練の一部は国が実施する令和4年度原子力総合防災訓練と一体として実施しました。

1 目的

種々の災害対策プロセスに応じた各種訓練を通じて以下の取組を推進し、原子力災害対策の実効性を向上させる。

- (1) 県および防災関係機関における防災体制や関係機関における協力体制の実効性の確認
- (2) 「美浜地域の緊急時対応」等に定められた避難計画の検証
- (3) 原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進

2 訓練想定

美浜発電所から放射性物質が放出され、長浜市および高島市の一部で避難等の措置を要する水準まで空間放射線量率が上昇した。

3 実施内容

災害対策に必要な各要素について、訓練日を分けて以下の訓練を実施。

別紙1「各訓練の位置付け」および別紙2「訓練内容」参照

訓練名	日時	主な参加者	主な訓練内容
①滋賀県災害対策本部等運営訓練	11月4日(金) 5日(土)	災害対策本部本部員ほか 9機関約70名	・本部員会議運営による意思決定 ・国、福井県等との連携
②住民避難訓練	11月6日(日)	住民、自衛隊等実働機関、医療機関ほか 35機関約680名 住民約250名	・バスを使用した住民避難 ・汚染検査
③緊急時モニタリング訓練	11月24日(木) 25日(金)	環境放射線モニタリング要員ほか 8機関約70名	・放射線情報の収集 ・環境試料の採取 ・環境放射能分析

4 成果

- ・国、関係市災害対策本部等関係機関と情報の共有や協議を行う中で、本県として取るべき対応について意思決定する過程を確認するとともに、各実施マニュアルに定められた手順の確認ができた。(目的(1)、(2)関連)
- ・県外に備蓄されている国の安定ヨウ素剤の受入れ、県外の放射線技師による応援や市域・県域を越える避難といった広域的な連携体制を確認できた。(目的(1)、(2)関連)
- ・原子力災害時の行動手順や汚染検査の流れについて、要支援者当事者も含めて参加住民の理解を深めていただくとともに、防災業務従事者の実行能力を向上させることができた。(目的(3)関連)

5 課題

- ・原子力災害への対応は事態の進展に応じて、防護措置を順次していく必要があることから、収集した情報について関係機関と正確に共有するとともに、住民にわかりやすく、タイムリーに発信することが必要。特に国、オフサイトセンター、電力事業者、長浜市および高島市としっかりと連携して取り組んでいく必要がある。
- ・冬季、夜間、地震により建物被害が大きい場合や進展が急速になった場合など、今回の訓練をもとに、さらにどのような対応が必要なのか検討する必要がある。
- ・初めて訓練に参加する要員もいることから、住民への分かりやすい説明や防護具の装着等に戸惑う場面もあった。継続的に実効性の維持・向上を図る必要がある。

6 今後の対応(予定)

令和4年 12月 内閣府、関係県による原子力総合防災訓練担当者振り返り

令和5年 1月 滋賀県原子力防災訓練調整会議

・関係機関と住民避難訓練に係る振り返りの実施

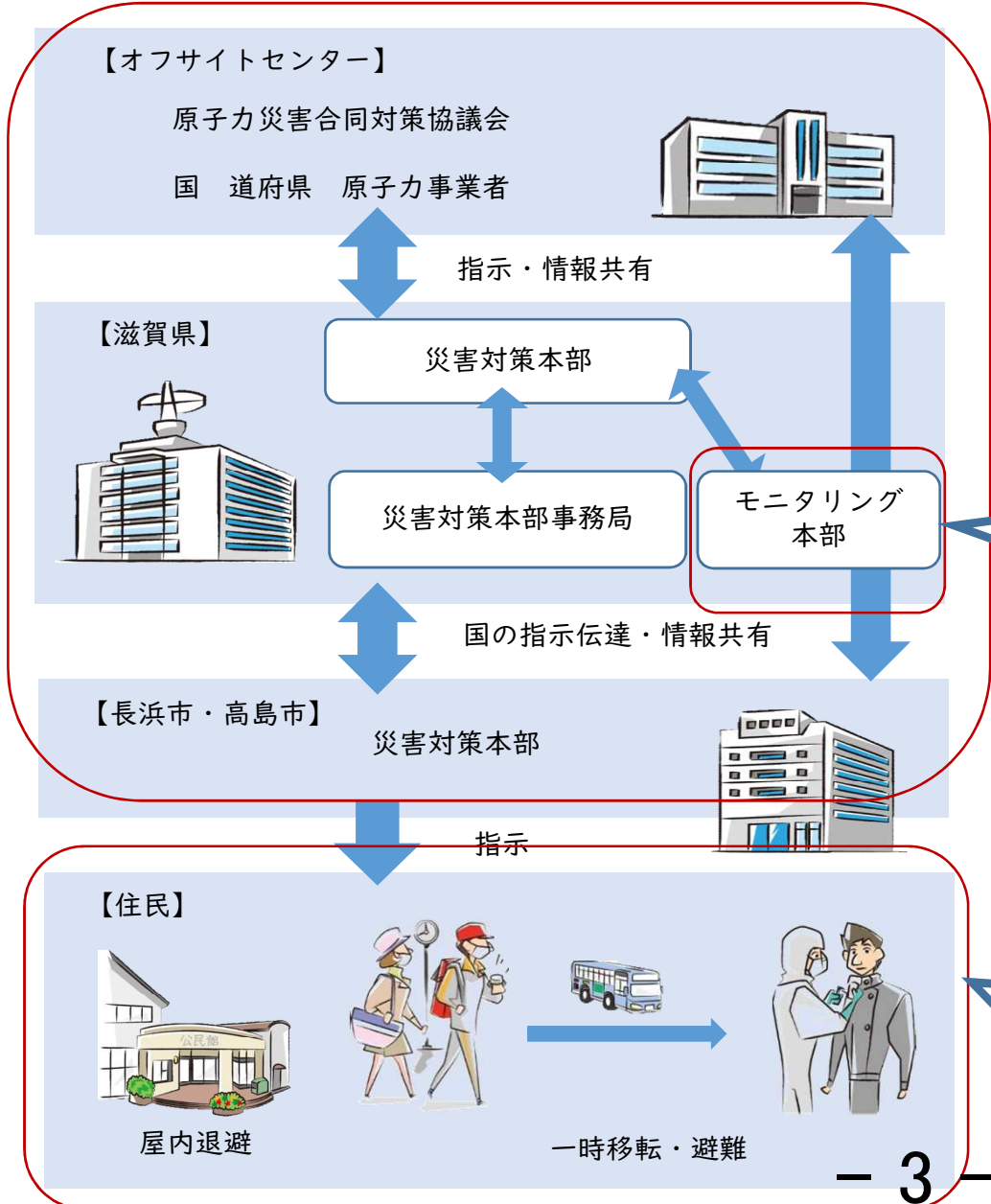
3月 (国) 原子力総合防災訓練報告書作成

令和5年度以降 原子力災害に係る滋賀県広域避難実施要領、滋賀県モニタリング実施要領等実施マニュアルの修正

※ 訓練の振り返り等で課題や改善点を抽出したうえで、体制や手順などを検証し、今後実施する様々な場面を想定した訓練や研修に反映し、実効性をさらに高めていく。

原子力防災訓練 各訓練の位置付け

別紙1



原子力災害発生から、住民避難までの流れを要素に分け訓練

原子力総合防災訓練
(災害対策本部等設置運営訓練)
(11月4日・5日)
※原子力総合防災訓練の一環として実施

緊急時モニタリング訓練
(11月24日・25日)

原子力総合防災訓練
(住民避難訓練)
(11月6日)
※原子力総合防災訓練の一環として実施
※長浜市・高島市と共催

令和4年度滋賀県原子力防災訓練 訓練内容

別紙2

滋賀県災害対策本部等運営訓練

開催日：令和4年11月4日（金）～6日（日）
開催場所：危機管理センター、長浜市役所、高島市役所 他

参加者：9機関72人

①災害対策本部等本部員会議運営訓練

②オフサイトセンター運営訓練



住民避難訓練

開催日 : 令和4年11月6日(日)
開催場所 : 長浜市内、高島市内

参加者 : 35機関435名
ほか住民247名

一時集合場所への集合
(県立高島高等学校)

一時集合場所からバスによる避難
(長浜市立高月小学校)



住民避難訓練

住民スクリーニング
(湖北体育館)
6日 9:30頃



住民スクリーニング
(高島B & G海洋センター)
6日 11:00頃



住民避難訓練

汚染者の救急搬送
(高島B & G海洋センター)



車両スクリーニング
(湖北体育館)



住民避難訓練

原子力災害医療の実施
(長浜赤十字病院)



原子力災害医療の実施
(高島市民病院)

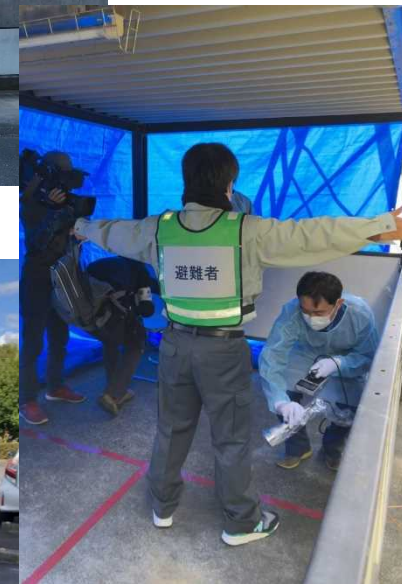


住民避難訓練

広域避難受入訓練
(大津市仰木の里市民センター)



一時帰宅者の汚染検査訓練
(大津市仰木の里市民センター)



政府備蓄の安定ヨウ素剤受入訓練 (住民避難訓練の一部として実施)

開催日 : 令和4年11月5日(土)

開催場所 : 日本通運株式会社滋賀支店大津営業課



緊急時モニタリング訓練

開催日：令和4年11月24日（木）、25日（金）

開催場所：危機管理センター、衛生科学センター、長浜市内、高島市内ほか

参加者：8機関65名

企画調整班活動状況 （危機管理センター）



環境試料の採取 （長浜市内、高島市内）

